

報道関係者様 各位

～飛騨の春の訪れを告げる～ 古川祭を首都圏で先取り体感できる！

岐阜県飛騨市



古川祭の“動”『起し太鼓』

飛騨市では、ユネスコ無形文化遺産「山・鉢・屋台行事」にも登録され、毎年4月19日、20日の行われる「古川祭」の魅力を首都圏にPRするため、八芳園ポップアップショールーム「MuSuBu」(東京・白金台)において、2023年2月22日(水)から26日(日)の全5日間、『町の人だけが知っている！飛騨古川祭の秘密』を開催します。

このイベントでは、祭りに携わる人

を通じて古川祭の魅力を伝える「祭と人」コーナーや、古川祭の裏側を紹介する「裏古川祭」コーナーの他、祭りには欠かせない飛騨の酒を味わう角打ちコーナーも、土日祝日限定で設置され、飛騨の春を告げる「古川祭」を先取りで体感いただけます。

さらに、期間中、飛騨牛や朴葉味噌、漬物ステーキなど、飛騨ならではの美味しいグルメを満喫できる限定メニューが提供されるとともに、2月24日(金)には、日本酒と飛騨の食材のマリアージュを味わう一夜限りのスペシャルディナーをご用意します。

JR東日本の都内駅にて観光セミナーを開催

合わせて、飛騨地域観光協議会と(株)JR 東日本びゅうツーリズム&セールスが連携し、飛騨観光セミナー「飛騨の春を告げる祭りをひも解く」を、2023年2月7日(火)と2月8日(水)の2日間、駅たびコンシェルジュ新宿(東口)と駅たびコンシェルジュ立川の2店舗で、計4回開催します。(事前予約制の為、満席となる場合がございます。)

このセミナーでは、飛騨の地で古くから大切に守り続けられてきた、天下の奇祭「古川祭」、日本三大美祭のひとつ「高山祭」を紹介し、春祭りの裏側をひも解き、祭りの奥深さやその魅力を伝えます。



3年ぶりに屋台の引き揃えが行われた2022年の様子

「祭りのために1年を過ごす！」という方も多く、古川祭は、人々にとって大切な祭り。祭りと飛騨人との関わりを通じて、飛騨市の魅力に触れてほしい。(飛騨市役所まちづくり観光課長 斎藤由宏)

— 本件に関する、一般の方から、及び報道関係からのお問合せ先 —

飛騨市役所商工観光部 まちづくり観光課 担当者：斎藤 中村 TEL 0577-73-7463